

救急車の適正利用にご協力ください

名古屋市内における令和6年中の救急出動件数は、160,212件で、1日当たり438件出動しており、令和5年中と比べると4,436件の増加で過去最多の出動件数となっております。また、今年に入ってからも救急車の稼働率が高く、名古屋市内の救急車が90%以上出動している状態も発生しています。

尊い命を救うため、限りある救急車を有効利用するには、重症度・緊急度の高い傷病者のもとに、いち早く到着できる体制が維持されなければなりません。そのため皆様には救急車の適正利用をお願いします。

しかし、実際に具合が悪くなったり、具合の悪い人を見かけた際は、救急車を呼ぶ判断に迷われることもあるかと思えます。

今回は、そんな時に判断材料となる症状と相談・利用できるサービスをいくつか紹介します。

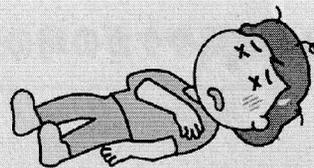
- 顔色が明らかに悪い
- 顔半分が動きにくい
あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと
口や顔の片方が
ゆがむ
- ろれつがまわりにくい
うまく話せない
- 突然、ものが二重に
見える
- 視野がかける



顔

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしでは
立てないぐらい
急にふらつく

頭



- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて
出血がとまらない、意識がない、
けいれんがある

頭

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けら
れるような、または圧
迫されるような痛みが
2~3分続く
- 痛む場所が移動する

胸・背中



腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

腹



※15歳以下

胸

- 激しい咳や、
ゼーゼーして
呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

腹

- 激しい下痢や
嘔吐で水分が
取れず、意識が
はっきりしない
- 激しいお腹の
痛みで苦しがる
- 嘔吐が
止まらない
- ウンチに
血がまじった

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に
力が入らなくなる

手足

- 手足が
硬直している